

まちづくり交付金 事後評価シート
加茂中地区

平成21年12月

島根県雲南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県	市町村名	雲南市	地区名	加茂中地区			面積	94ha		
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	571.3百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業		道路(市道本町線、市道加茂中央1号線、一般県道加茂中停車場線)、地域生活基盤施設(新町交差点広場)								
	提案事業		地域創造支援事業(新町防火水槽)、まちづくり活動推進事業(社会実験、ワークショップ)								
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業		市の財政状況や近隣地域での類似施設の整備状況等を鑑み、モニタリングにより事業効果の再評価を行い後年に維持管理経費を伴う公共施設建設の計画を削除した。			センター施設等の中止により交流人口の計測が不可能となったため、数値目標から削除した。			
	提案事業		地域創造支援事業(加茂中駅舎整備)		同上			同上			
交付期間の変更		当初変更		平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		当初変更なし			
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	住民が住みやすくなったと思う割合	%	0	H16	35	H21	28	80	あり なし	平成22年5月
	指標2	生涯学習教室の開催回数	回/年	120	H16	300	H21	135	385	あり なし	平成23年3月
	指標3	地区内人口	人	1,500	H16	1,550	H21	1,548	1,578	あり なし	平成22年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 整備区域内に設置した街路灯は、地域資源である銅鐸をデザインしたことで、銅鐸出土地としてのイメージ作りが出来た。 整備区域内に整備した広場は、地元住民による定期的なイベントに利用されるなど、地域の賑わいの創出に寄与している。 整備区域内の歩行空間を整備したことで、小中学生の登下校時の安全性が向上した。 										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	中間モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				第三者による事業評価により事業の妥当性や事業効果の見通しを見出すためには有効な手段であり、今後、他事業においても導入を検討する。			
	住民参加プロセス	・ワークショップ ・社会実験		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				ワークショップでは、住民意見が反映できることから計画への合意形成が図りやすくなることから、住民同意を得るための有効な手段であり、今後、他事業においても導入を検討する。また、社会実験では、直接住民の意見を伺うことができ、ワークショップと同様に住民意見が反映出来ることから計画への合意形成が図りやすくなることから、住民同意を得るための有効な手段であり、今後、他事業においても導入を検討する。			
	持続的なまちづくり体制の構築	広場の運営管理を地元商店街で行う		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後引き続き組織の構築を推進し、構築後には管理を実施する予定である。			

